

みき通信

日本共産党 町議会議員
くぼたみき 活動報告

第31号 2013年6月25日

発行 がんばれ くぼたみきの会

連絡先 875-7126 (阿部)

じゃがいも掘りのできる”しあわ かみしめて

早くも梅雨入りが宣言された6月初め、好天のもとで2日間にわたって日本共産党の葉山後援会(がんばれくぼたみきの会も仲間です)主催のじゃがいも掘りが行われました。

人手が多かったので、掘りだしたじゃがいもがあつという間に山のように積みまれ、うれしいお土産になりました。

山と緑に囲まれ、大勢で食べる豚汁・おにぎりは、格別なおいしさでした。

くぼたみき、近藤昇一町議の他、逗子の橋爪明子市議も友人のご家族と参加し、楽しい一日を過ごしました。

放射能の心配もなく、安心して食べられることのありがたさ。そして自然の恵みへの感謝の気持ちが強くわいてきました。

6月2日には東京で原発ゼロを目指す共同行動「No Nukes DAY (ノーニクスデイ)」が行われ、6万人が参加しました。これだけの規模の集会や行動が、新聞やTVなどでどれだけ報道されたのでしょうか？

広島、長崎、そして福島原発事故を体験した日本。その原発事故の収束の見通しもたえないというのに、原発を再稼働し、世界に原発を売り歩く安倍首相の姿に、怒りを通越し悲しみの気持ちでいっぱいです。

一人ひとりの小さな幸福を守るには、この目先の利益に心を奪われるまがった政治を変えなければと改めて感じたじゃがいも掘りの一日でした。

ご自宅に火災警報器、設置されていますか？

町議会議員 くぼたみき

23年6月までに個人住宅への火災警報器の設置が義務付けられました。火災による死亡者の多くが逃げ遅れによるもので、警報器設置が早期発見に繋がり死亡者が減少することがわかっています。

義務化に向け自治体では、多くの方が設置出来るようにとそれぞれ補助金を設けているところもありましたが、義務化された今では県内では松田町のみ補助制度が残っています。

さて葉山町はどうでしょうか。今議会の一般質問で質問しました。補助制度は現在も以前もないということでした。自治会単位で行ったところもあります。町としては補助制度はありません。

警報機の設置で火災の早期発見、死亡者の減少に繋がることが分かっているにもかかわらず「義務化されたものに補助は行わない」ということでした。多くの自治体では義務化されるまでは補助を行っていました。また警報器設置件数の把握、設置推進も行っています。

葉山町ではやっとアンケートによる設置件数の把握を始めたとのこと。高齢の方は逃げ遅れてしまうことも多いし、火災を起こしてしまうリスクも高くなります。防災面からだけでなく福祉の面からも、せめて高齢者宅への火災警報器設置補助を行うよう求めました。

「義務付けされているものに補助はしない」という考えではなく、住民の生命と安全を守るための補助を更に求めていきます。

ごみの戸別収集が来年6月より実施と町長答弁がありました。

今回のモデル地区は削減率13%でしたが、最初のモデル地区削減率50%よりかなり低くなっています。町は職員や、収集車は増やさず実施出来るとしています。更なるごみの分別、減量化を進めないで経費UPや収集職員増などが懸念されます。行政と町民の方との協力が重要です。実施に向けてしっかりと精査していかなくてはなりません。